

H21 防災教育学習「須崎市こども防災キャンプ」

吾桑小学校 10月24日(土) 8:40~16:00

Inあそう



平成21年10月24日(土)に吾桑小学校で、防災教育学習「須崎市こども防災キャンプ」を開催しました。
学習には、小学校児童の他、PTA、地域住民等が参加しました。
体験学習は、180mm/hの雨量体験ができる「降雨体験装置 大粒くん小粒ちゃん」や土石流が疑似体験できる「土石流3D体感シアター」で土砂災害の恐ろしさを体験しました。また、津波体験模型による津波実験なども体験しました。
その他にも、消火訓練や災害時を想定した灯りづくりに挑戦し、色々な体験を通じて防災に関する知識を学習しました。
参加者数 児童78名、こども会、PTA、教職員、地域住民
他 スタッフ含め 合計200人



○学習の概要

今後高い確率で起こるだろうといわれている南海大地震や台風などの集中豪雨による災害について、子どもたちが家族や地域とともに学習し、いざという場合の対応方法を学習することで、子どもたち自らが、自分の安全を守る力を身につける。また、自分や家族だけでなく高齢者等の災害時要援護者の命を守ることの重要性についても学ぶ。

大粒くん小粒ちゃん



土石流3D体験シアター



煙からの脱出体験



救急訓練



気象学習



ビニール袋を使った非常炊飯



動きを合成してます。





◎当日の参加者

吾桑小学校児童 78名

教員 10名

PTA、消防団 などスタッフ合計 約100名

少数ではありますが、地域の住民の方も来場されていました。

○開会式

始めに児童、教員、スタッフが集まり開会式を行いました。

須崎市長もかけつけて頂き、挨拶をいただいています。



6グループに別れ体験



大粒くん小粒ちゃん



土石流3D体感シアター



学習とパネル展

○第一ブース

土石災害に関する学習と体験を行っていただきました。

【学習】

実際の土石災害の映像を交えながら、土石災害の恐さを学びました。

【体験】

6グループに別れ、降雨体験装置「大粒くん小粒ちゃん」と土石流3D体感シアターを交代で体験していただきました。

また、待ち時間には、ロープの括り方を学ぶロープワーク学習も行っています。

●学習(高知県防災砂防課)

●体験装置(国土交通省四国山地砂防事務所)

・降雨体験装置「大粒くん小粒ちゃん」(標準は3分程度)

少し強い雨量10mm/hから日本一の雨量180mm/hまで体験していただけます。

このような非常に強い雨が降った場合は気象情報に注意し、避難等の検討を行ってください。

・土石流3D体感シアター(標準は7分程度)

土石流の恐さを体で体験することができます。

飛び出す映像にあわせ、座席が揺れ、土の臭いがします。

●ロープワーク(高知県河川課、教材は国土交通省高知河川国道事務所よりお借りしました)



ロープワーク



○第二ブース

南海大地震に関する学習と体験

火災時の煙が充満した場所からの脱出訓練 を行っていただきました。

【学習】

1～2年生：防災ダック(体を使ったゲーム)、3～4年生：紙芝居、5～6年生：防災クイズ の形式で南海大地震の学習
津波の実験映像などを使った、地震時に発生する津波の恐さを知る学習

【体験】

津波の実験模型を使った、台風時の波浪と地震時の津波の違いを目で見て体験してもらいました。

【訓練】

火災は地震時以外でもおこりますが、煙が充満した場所からの脱出訓練を行いました。

訓練時は人体に有害な物質がでない煙発生装置を使っています。

本当の煙は訓練時とは違い、苦しく、吸い込むと意識を失う恐れもありますので、姿勢は低くし、ハンカチなどで口をふさぎ煙を吸い込まないように避難してください。

- 学習(高知県スポーツ健康教育課、高知県海岸課)
- 津波実験模型(国土交通省高知港湾・空港整備事務所よりお借りしました)
- 煙発生装置(消防署)



救急訓練(応急担架)



救急訓練(AED)



救急訓練(心肺蘇生)

第三ブース

非常時の救急訓練を行っていただきました。

【訓練】

非常時のため、AEDを使った心配蘇生法について、訓練形式で学びました。

また、怪我をされた方を、手近な物をつかって運ぶ方法なども学びました。

- 訓練用AED機器など(消防署)



局地的大雨から身を守るために



上昇気流実験



簡易雨量計の工作



簡易雨量計の使い方



雨量計(展示)



竜巻発生装置(展示)



はれるんくん と つなみまん

第四ブース

突発的な豪雨(ゲリラ豪雨)の学習と簡易雨量計の工作

【学習】

温めた空気が上昇気流となる実験やTVゲーム形式の学習を取り入れて、気象について学ぶ。

【工作】

簡易雨量計を作成し、実際に水を入れてみて使い方を学ぶ。

【展示】

竜巻発生装置・・・ドライアイスを使い、人工的に竜巻を発生させます。

雨量計・・・雨量計の仕組みがわかります。

計測震度計・・・実際に揺らしてみ、どれぐらいの震度か試せます。

●学習、展示物(気象庁高知地方気象台)



灯りづくり(説明)



灯りづくり(材料作成)



灯りづくり(芯作り)



灯りづくり(完成)



灯りづくり(消灯後)

第五ブース

廃油と空き瓶を使った灯りづくり

【工作】

アルミホイルを台に、ティッシュを芯に、廃油を燃料に灯りを作ります。
災害時などで明かりがない場合などに活用してください。

- 学習(高知県出先土木事務所)
- 廃油(給食調理で使用した物)



第六ブース

消火訓練と地域消防団(児童のお父さんも参加)による消防小型ポンプ操法の見学

【訓練】

消火器(水消火器)・・・消火器の使い方を訓練する。

バケツリレー・・・火災時バケツを使った消火の際どのように動いたらよいか体感してもらう。

放水・・・消火ホースの放水時の水圧などを体感してもらう。

【見学】

地域消防団による消防操法の見学。地域のお父さんの勇姿の見せ所。普段から父はがんばっています。

●全般(消防署、消防団)



第七ブース

火災時に建物に取り残された場合の避難設備の使用方法を学習します。

また、レスキュー隊員の降下訓練の見学もあわせて行いました。

【訓練】

小学校2階に設置された避難梯子を実際に使用し、校長先生代表して訓練を行いました。

また、児童の各学年代表にも体験してもらい避難梯子の下り方を学習しました。(体を無理に伸ばすのは危険など)
避難梯子の設置の際は、柱や壁のある場所に設置し、降りる際にたわまないようする工夫などの説明もありました。

【見学】

レスキュー隊の降下訓練を行っていただきました。

火災現場などに入り、退路を断たれた場合などに行うそうです。

以前はロープに手を使うのみで行っていましたが、現在ではハーネス等の使用が当たり前になっているとのこと。

●全般(消防署)



第八ブース

非常時の食事の調理を訓練し、また、児童・スタッフに食べていただきました。

【内容】

ビニール炊飯・・・ビニール袋に決まったお米と水をいれ、沸騰した水でそれを茹でるとご飯が出来ます。

豚汁・・・非常時の定番です。

カンパン・・・現在のカンパンは昔(?)と違いオイシイと評判でした。

- 非常炊飯の調理(地域の保護者や公民館関係者など 協力)

その他

南海地震キャラクターの「じしんまん」「つなみまん」も登場しました。

- 南海地震キャラクター(高知県地震・防災課)

